

気候危機打開、西国分寺駅東口早期開設を

〈気候危機打開へ自治体としての役割発揮を〉

岡部：若者が気候危機対策の強化を求めて街頭でアピールする取組みが活発に行われている。同じ思いで質問させて頂きたい。市として気候危機問題をどのように認識しているか。

答：今対策に取組まなければ温暖化は止めることが出来ない。市は今年2月にゼロカーボンシティを表明し、今年度から2カ年で市域版の計画を策定する予定。

岡部：早急に市民的議論を進める取組みを。

答：計画の検討過程で、ワークショップ、オープンハウス、無作為抽出のアンケート等を実施するとともに、周知啓発を図っていく。

岡部：市自らの対策の1つとして、市庁舎での電力調達の入札の仕方を工夫することで、再生可能エネルギーを積極的に推進している電力会社を選択するような仕組みにできないか。

答：現在は環境への配慮状況など入札参加資格を確認した上で価格による競争を実施している。現段階ではこれを継続していきたい。

岡部：ゼロカーボンシティを宣言している市として、今後は見直しも含めて不可避の課題だ。

〈西国分寺駅東口の早期開設を〉

岡部：新庁舎完成と同時に東口開設を、とのご意見が寄せられている。市の考えは。

答：設置費及び維持費について市の負担軽減が

日本共産党国分寺市議団
岡部 宏章



課題であり、JRと協議を続けている。新庁舎は令和6年完成予定で、その期間で協議となるとより厳しく難しい。

岡部：都内の鉄道駅の改札口を数カ所視察してきた。駅員を配置しない無人改札口で運用できているなら西国分寺駅東口も同様の方法で開設が可能で、人件費の問題が克服できるのでは。

答：情報収集は(既に)しており、収集した事例を参考にJRと協議している。

その他、東元町三丁目の都有地の管理と活用の方策、中学校給食について質問しました。

まちのより良い継続を求める！

国3・4・12号線沿線整備について：駅周辺の道路環境整備。電線地中化からの防災、景観の向上等が整備の効果となることを確認。街路樹の選定は桜を含めて適応した植栽を提案。整備から生まれる平行した駅前通りには今より往来できる動線の確保が必要。良い事例となる門前まち等の整備を参考に活性化と魅力の拡大を求める。

国3・4・1号線：国3・4・11号線整備について：(市)国3・4・1号線(国分寺分)現在、用地取得を進め令和3年度末、予定用地で約21%。3・4・11号線(都分)では令和2年度末で約13%と聞く。交差点を含め地域の声を聞き交通管理者と協議し安全性、利便性等を確保し早期の完遂を進める。

不動橋周辺整備について：都との調整を想定すべし。市民の声に応える早期の野川整備の声を意識して検討する必要あり。不動橋、レンガアーチなど遺構の整備の進め方に市の方針が必要。

国分寺駅周辺の交通環境整備について：駅南口整備に各種整備の予算割りを踏まえ、都、JRなど各々協議し利便性の高い一元管理体制を求む。

国分寺駅周辺のバリアフリー化について：南口駅階段の東西壁面の手すりの設置等を求める。

「すべての人を大切にするまち宣言」について：全会一致でこの理念に賛同した。市民に向けて、各種事業を通して、確かに伝え広げべき。

外来種(植物)の駆除について：今まで市では

自由民主党市議団
尾作 義明



外来植物の対策がないことを確認。今後、繁殖力の強い特定外来植物(オオキンケイギク、ナガミヒナゲシ等)の認識と駆除の必要性の情報拡散が必要。以前よく見られた在来種の保護と未来に残す緑の質を向上するべき。環境指数の基本となる国分寺市動植物調査の再開を求めた。歴史教育について：史跡100周年を機に伝えるべきことについて：これを機にあらためて武蔵国分寺跡の持つ希少性、歴史的価値、素晴らしさを身近に感じる機会と学ぶ機会が必要。家族や地域で語り合える国分寺の歴史教育を求む。

世界平和を諦めない。核ではなく対話から。

◆物価や原油価格の高騰が市民生活や事業に大きく影響。対策を。(答) 現段階では相談件数の増加等見られないが、注意深く見守り必要に応じて支援策を考える。委託事業者から「契約時に予測できない物価の上昇等による」相談があれば、契約約款に基づき協議する。◆労働者協同組合は、組合員が出資し、意見を出し合い、事業に従事する新しい働き方。広く周知を。(答) 多様な就労の機会を創出し、持続可能で活力ある地域社会の実現に期待できる。機会を捉えて周知していく。◆ケアラーの状況は、遠距離介護やダブルケア、ヤングケアなど多様。「ケアラー自身の生活や人生の質を維持向上させる視

点」を持った実態調査、ニーズ把握を。(答) ケアラーに特化した調査は、整理内容も多く課題と認識。検討したい。◆まちなかの樹木や草花に名札をつけ、植物園のように身近に自然に親しめる環境づくりを。(答) 最近の宅地開発事業に伴う提供公園では、ウェブ上の植物図鑑にアクセスできる二次元コードつきの表示板を設置した公園もある。市で整備する公園緑地にも同様の表示板を設置できるよう考えたい。

◆国分寺駅北口駅前広場の植栽に関するパンフレット作成を。(答) 武蔵野の森を実現するための管理を行っている。植栽計画をわかりやすくPRするようリーフレットを検討したい。

無党派(国分寺・生活者ネットワーク)
高瀬 かおる



◆国分寺駅南口駅前には、伐採された切り株が残されているが、武蔵野の自然をイメージし、災害に強く管理しやすい樹木を植樹してほしいとの声がある。JRとの協議にあたって市民意向の聞き取りは？(答) 公共空間としての維持管理、再整備方針策定に向けた取組を進めている。今年度は団体ヒアリング等により市民意向の把握を行う。◆ウクライナ侵攻の平和的解決を願い、真の共生・平和を希求し、様々な事業や教育を通して、お互いの違いを認め尊重し、対話する力を培う取組を強く求める。

鳩山町を見習って幸せな町を目指しましょう

1. 母子健康手帳について=10年ぶりの見直しなので利用者の意見を聞いてはいかがか？⇒乳幼児健診等を活用して意見を聞く等検討したい。

2. 保育行政について

(1)待機児童は何人か？⇒1才児が25名。

○今後保育所をつくる計画はあるのか？⇒ない
○東京都が0才児の空き定員を1才児に定員変更すると補助金を出すと云っているのを検討してほしい。

(2)保育の質の向上についての市の取り組みは？⇒基幹型保育システム事業を展開している。

(3)手ぶら保育ということで「おむつのサブスク」をやっている自治体があるので検討していただ

きたい。

3. 小学校の教室増築について=35人学級への対応で1学年ずつ35人学級に移行する。10小の増築について数年前に平屋の増築棟を作ったばかりなのにまた別の場所に増築するとは市は長期的な見通しを持ってやっているのかとの声が出ている。丁寧に適宜説明会を開催してほしい。⇒適切な時期、方法について検討したい。

4. 介護保険の見える化について=3年ごとの事業計画だけではなく高齢化がピークを迎える2040年問題に向けて長期的なシナリオが別途必要だと考えるので今後検討してほしい。

5. 友好都市の「鳩山町」が「日本一幸せなま

立憲・市民フォーラム
及川 妙子



「ちらんキング」で全国1883市区町村で1位だった。鳩山健康モデルで健康寿命も長い。国分寺市も交流事業などとおして見習ってはいかがか？⇒情報交換し鳩山モデルを参考にしたい。

○ちなみに幸福度調査では国分寺市は119位。

6. コロナの地方創生臨時交付金について=令和2年度8億4千万、3年度5億7千万交付されている。適切に使われていることを確認した。今年度は物価高騰対策で給食費の補助が予定されているが緊急なものは早め早めに対応していただきたい。